

『単なるハンバーガーにすぎない？』

牛肉消費の影響についての反省

それは只のハンバーガーでしょう？
違います！

それは
経済基盤と
ロナルド・マクドナルドの価値観を
サポートする事を意味します。

それは、
動物虐殺を認め
消費主義の含意をすべて受け入れる事です。

それは、
人工の原材料、遺伝子処理、低賃金、
いらいらさせる広告を積極的に進める事を
示します。

それは、
わずかな人だけがカクテルやキャビアや
牛肉を楽しむ
十分に食べられない数百万への無関心を
示すメッセージです。

丸パンの間をよく見てください：
私たちが直面する必要がある問題が
あなたの皿にのっているバーガーにあります。

- T Newfields (和訳: 神谷卓代)

開始: 2005 年 東京・完成: 2016 年 新台北 (台湾)





聡: これは何でしょう？ベジタリアンか何かの信条？

陰: そのようですね。作者には、肉に対して相反する感情がたぶんあったのでしょう。

フリーダ: だけど私たちは皆、肉でしょ。ひもじい時は、私たちが皆むさぼり食われるのだから、なぜある食物を楽しまないの？

デミタリ: なぜなら、どんな尊厳死が屠殺場にあるのか疑問に思うからです。